



「やすらぎ文庫」だより

No 10号

平成 27 年 6 月

患者図書室のレファレンスって？

文部科学省の「これからの図書館サービスのあり方」の中に、レファレンスサービスとは「調べもの相談」「探し方・調べもの案内」と言うと分かり易いと書かれていました。患者図書室「やすらぎ文庫」では、看護師が調べもののお手伝いをしています。サービスを始めて2年と9ヶ月です。来室された方が病気について、検査値について、薬等についてなど調べる時、出来るだけ分かり易い本を紹介し、知りたい事のお手伝いや、補足説明をしています。又、介護生活や療養についての話も伺っています。ご存知でしたか？

図書室内の2台のパソコンに医療情報サイト「ネット患者図書室」を用意をしていますが、カード購入の必要がある為か？たま～に、利用される方がいるくらい…。ですから、スマホ等を活用されている方には、(特にジーンとしていないお子さま連れのお母さんや若い患者さん)パンフレットと共にURLを紹介しています。分からない方には、受診内容を伺って調べ方も説明しています。たとえば、医療情報サイトの、「やさしい医学の知識」と言う項目の中に、「ロボット君のからだ」と言うサイトがありますが、小学生ぐらいの子供さんは面白いようで自分でマウスを動かして見えています。楽しそうです！

先日、点滴をした患者さんが車椅子に乗って職員と看護学生と一緒に来られました。「心臓疾患の食事の本」を希望されていたので、お手伝いをしました。みんなで調べてみると、今までの生活状況と食べたいものを話しだし、本を借りて病室でじっくり勉強することになりました。「患者さんが自ら考えること」は、周りの働きかけと温かさがあると良いんですね～ 顔を上げた笑顔がよい表情でしたから……。図書室を自由に使っていただけのようになるといいなと思っています。次回は、認定看護師と取り組んだ話を紹介しますね～

新着本 20 冊が入りました！！

子供の本 9冊

急性肺炎ガイドライン第4版

遺伝子について分かりやすく書かれた本 3冊

美味しいおかゆ

がん研が作ったがんが分かる本 第2版

慢性疾患の子供の学校生活 等

*7月5日(日曜日)「いきいきフェスタ」開催、9時～15時迄、図書室も臨時開館致します。ぜひ、ご利用下さい。